

自らの変革をトップレベルで続けると共に お客様・社会全体の環境負荷低減に貢献していきます。

富士通フロンテックグループは、中期環境ビジョン「Green Policy 2020」の3つの目標である「お客様・社会全体への貢献」「自らの変革」「生物多様性の保全」の実現に向けて、2010年度から2012年度における「第6期環境行動計画」を策定し推進しています。私たちは各事業の環境影響を把握し、自らの環境負荷低減を追求してきました。今後は、持続可能な社会を支えるために、お客様や社会全体の環境負荷低減に積極的に関わり、大きく貢献していきます。



環境保全活動のCSR

1 環境保全活動の基本方針

当社グループは富士通グループ環境方針を遵守し、「環境にやさしい企業活動」を基本理念として、環境保全への取り組みが経営の最重要課題の一つであると認識し推進します。持てるテクノロジーと創造力を活かし、社会の維持可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を遵守することと、自主的な環境保全活動に努めます。

2 コンプライアンス

当社グループのCSRは「富士通フロンテック・ウェイ」において、企業理念、企業方針、行動規範、行動指針を定めています。環境保全活動においても同様に、「富士通フロンテック・ウェイ」を基本に推進し、国内外の法的基準のすべてを順守することを定めています。

3 環境教育

環境保全活動に関する環境方針、目的・目標をはじめ社会的責任を含めe-ラーニング方式による教育を推進しています。当社グループ社員のみならず、同じ事業所エリア内で業務を行う方々も対象にしています。

4 顧客

製品開発はすべて環境配慮型製品であり、社内では「グリーン製品」と呼び、省エネ、省資源およびリサイクルなど環境基準をすべてクリアしなければなりません。さらに環境要素がトップレベルの省エネや植物性プラスチックの採用などスーパーグリーン製品や環境貢献・配慮ソリューション商品の開発を積極的に進め地球温暖化対策などの社会的責務を果たすべく、より水準の高い製品開発にチャレンジしています。

5 情報公開

ホームページ上の「環境活動」で環境方針、環境行動計画や環境測定の内容などについて情報を適時公開しています。なお、年に1回「環境経営報告書」として冊子を発行し、お客様をはじめ一般の方々へ配布しています。

6 生物多様性保全と社会貢献活動

自らの事業活動における生物多様性への影響低減と保全を目指し2010年度より新たにさまざまな施策を実施します。サプライチェーンでは、生物多様性保全の取り組みを実施するお取引先からの推進を推進します。また従来より実施している社会貢献活動も、行政はじめ各種団体との連携を強化しながら継続的に推進します。

7 グループ連携

環境保全活動は富士通グループの一員として推進しています。さらに当社グループの独自性も加味し、より幅広い環境保全活動を積極的に推進します。

*CSR:企業の社会的責任
*EMS:環境マネジメントシステム